



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場会社名 日本電気硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 有岡 雅行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 稲増 耕一

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 077-537-1700

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

平成25年11月29日

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	126,271	△16.6	10,427	△37.9	9,799	△34.3	6,022	30.9
25年3月期第2四半期	151,349	△17.9	16,797	△64.7	14,916	△67.4	4,601	△81.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 14,986百万円 (126.0%) 25年3月期第2四半期 6,632百万円 (△72.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.11	—
25年3月期第2四半期	9.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	704,031	506,299	70.9
25年3月期	697,385	495,294	70.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 499,083百万円 25年3月期 488,936百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	188,000	△16.0	16,000	△27.1	14,000	△26.9	9,000	24.2	18.09
	～193,000	～△13.8	～18,000	～△18.0	～16,000	～△16.5	～10,000	～38.0	～20.10
通期	255,000	△11.2	19,000	△23.9	16,000	△29.7	10,000	△5.7	20.10
	～265,000	～△7.8	～22,000	～△11.9	～19,000	～△16.5	～13,000	～22.6	～26.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料3ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	497,616,234 株	25年3月期	497,616,234 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	212,802 株	25年3月期	208,204 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	497,405,972 株	25年3月期2Q	497,410,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、10月28日に当社ホームページ(URL <http://www.neg.co.jp/>)にて開示します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

[第2四半期連結累計期間]

## ①概況

世界経済は、欧州景気が下げ止まりの兆しを見せ、米国では住宅市況や個人消費の改善などにより景気回復が進みました。また、中国では減速感が見られましたが、経済は緩やかな成長を維持しました。国内経済は、輸出が鈍化したものの、住宅や個人消費、雇用などが改善し緩やかな回復が続きました。

このような中、当第2四半期連結累計期間においては、主力の液晶ディスプレイ（LCD）用基板ガラスが第2四半期（平成25年7月1日～9月30日）に入り伸び悩みましたが、ガラスファイバなど他の事業が堅調に推移したほか、生産性の向上や費用削減などによりコスト改善が進みました。これらの結果、業績は、前年同期（平成24年4月1日～9月30日）との比較では下表のとおりとなったものの、第1四半期（平成25年4月1日～6月30日）から第2四半期にかけて緩やかな回復軌道をたどりました。

## ②経営成績

	前第2四半期連結累計期間 (24/4～24/9) (億円)	当第2四半期連結累計期間 (25/4～25/9) (億円)	増減 (%)
売上高	1,513	1,262	△17
営業利益	167	104	△38
経常利益	149	97	△34
純利益	46	60	31

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第2四半期連結累計期間 (24/4～24/9)		当第2四半期連結累計期間 (25/4～25/9)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	1,201	79	923	73	△278	△23
	その他用ガラス	311	21	339	27	27	9
合計		1,513	100	1,262	100	△250	△17

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (売上高)

## ・電子・情報用ガラス：

LCD用基板ガラスは第2四半期後半に需要が減速し、販売が伸び悩みました。光関連ガラスの販売は鈍化したものの、イメージセンサ用カバーガラスなどの電子デバイス用ガラスは堅調に推移しました。太陽電池用基板ガラスの販売は、国内の電力固定価格買取制度による旺盛な需要を背景に増加しました。

## ・その他用ガラス：

ガラスファイバの販売は、自動車部品向け高機能樹脂やコンクリート強化用途の需要拡大により増加しました。建築・耐熱・その他の事業は持ち直しの動きが見られました。

## (損益面)

円安等により原燃料価格が上昇した一方で、生産性の向上や費用の削減などによるコスト改善が進展しました。これらにより、営業及び経常利益は、前年同期と比べ低下したものの、いずれも第1四半期から第2四半期にかけて緩やかに回復しました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ①平成26年3月期第3四半期連結業績予想

	平成25年3月期 第3四半期連結累計期間 (24/4～24/12) (億円)	平成26年3月期 第3四半期連結累計期間 (25/4～25/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,239	1,880～1,930	△16～△14
営業利益	219	160～180	△27～△18
経常利益	191	140～160	△27～△17
純利益	72	90～100	24～38

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## ②平成26年3月期通期連結業績予想

	平成25年3月期 (24/4～25/3) (億円)	平成26年3月期 (25/4～26/3) (億円)	増減 (%)
売上高	2,873	2,550～2,650	△11～△8
営業利益	249	190～220	△24～△12
経常利益	227	160～190	△30～△17
純利益	106	100～130	△6～23

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

世界経済は、米国や中国で緩やかな回復が進み、欧州では持ち直しに向かうことが期待されます。国内については、緩やかな回復の下、消費税増税前の駆け込み需要などが見込まれます。

このような中、先行きについては、電子・情報用ガラスでは、LCD用基板ガラスの出荷は、横ばいから小幅な伸びを予想しています。光関連・電子デバイス用ガラスは季節変動の影響が予想されますが、太陽電池用基板ガラスは堅調に推移する見込みです。また、スマートフォンやタブレット用カバーガラス(化学強化専用ガラス)が、本格的に立ち上がってくるものと見込んでいます。

その他用ガラスでは、自動車需要の拡大などを背景に、ガラスファイバの出荷は堅調を持続すると見込み、建築・耐熱・その他の事業は緩やかに回復するものと見込んでいます。

一方、韓国の新会社、電気硝子(Korea)株式会社が本年7月より生産を開始し、現在、順調に立ち上がってきていますが、費用面では減価償却費や立ち上げコストなどが見込まれます。当社グループとしては、同社を早期にフル稼働させこれらのコストを吸収するとともに、生産性の向上や費用削減、業務の効率化などに更に注力し、利益の確保に全力を上げていく所存です。

以上を踏まえ、第3四半期累計期間の連結業績を上表①のとおり予想しています。

なお、平成26年3月期の通期連結業績予想については、当初予想からの市場環境の変化や業績の進捗及び見通しなどを勘案し、平成25年4月26日の公表値から上表②のとおり修正することといたします。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素がありえます。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	129,420	121,593
受取手形及び売掛金	45,824	45,492
商品及び製品	31,552	36,492
仕掛品	2,479	2,090
原材料及び貯蔵品	21,203	21,147
その他	13,199	13,521
貸倒引当金	△103	△85
流動資産合計	243,576	240,253
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	303,742	295,335
その他（純額）	91,633	105,421
有形固定資産合計	395,375	400,756
無形固定資産	2,090	2,262
投資その他の資産		
その他	56,383	60,806
貸倒引当金	△40	△47
投資その他の資産合計	56,342	60,758
固定資産合計	453,809	463,778
資産合計	697,385	704,031
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,805	29,358
短期借入金	22,712	16,115
未払法人税等	1,423	3,407
その他の引当金	94	40
その他	28,003	26,998
流動負債合計	88,038	75,920
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	36,891	41,851
特別修繕引当金	35,032	38,039
その他の引当金	989	1,030
その他	1,138	891
固定負債合計	114,052	121,811
負債合計	202,091	197,732

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,351	34,351
利益剰余金	418,419	420,463
自己株式	△270	△272
株主資本合計	484,657	486,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,852	13,874
繰延ヘッジ損益	△67	95
為替換算調整勘定	△6,506	△1,583
その他の包括利益累計額合計	4,279	12,385
少数株主持分	6,358	7,215
純資産合計	495,294	506,299
負債純資産合計	697,385	704,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	151,349	126,271
売上原価	121,247	102,213
売上総利益	30,101	24,058
販売費及び一般管理費	13,304	13,631
営業利益	16,797	10,427
営業外収益		
受取利息	58	120
受取配当金	289	535
為替差益	—	897
その他	505	491
営業外収益合計	853	2,044
営業外費用		
支払利息	395	361
為替差損	613	—
固定資産除却損	394	254
休止固定資産減価償却費	853	1,438
その他	478	617
営業外費用合計	2,735	2,671
経常利益	14,916	9,799
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	1,602	75
固定資産売却益	—	92
特別利益合計	1,602	167
特別損失		
固定資産除却損	705	514
投資有価証券評価損	4,074	—
その他	1,167	142
特別損失合計	5,947	656
税金等調整前四半期純利益	10,570	9,311
法人税等	5,438	2,470
少数株主損益調整前四半期純利益	5,131	6,841
少数株主利益	530	818
四半期純利益	4,601	6,022



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,131	6,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	646	3,021
繰延ヘッジ損益	△73	162
為替換算調整勘定	927	4,960
その他の包括利益合計	1,501	8,145
四半期包括利益	6,632	14,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,097	14,129
少数株主に係る四半期包括利益	535	857

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,570	9,311
減価償却費	22,453	16,760
売上債権の増減額(△は増加)	△6,878	940
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,703	△4,431
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,285	△9,094
法人税等の支払額	△908	△1,204
その他	6,941	5,117
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>26,596</b>	<b>17,399</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△22,128	△19,864
投資有価証券の取得による支出	△1,198	—
投資有価証券の売却による収入	1,094	—
その他	△2,135	△356
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△24,367</b>	<b>△20,221</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	206	△4,962
長期借入れによる収入	—	5,500
長期借入金の返済による支出	△22,178	△2,198
社債の発行による収入	20,000	—
配当金の支払額	△3,977	△3,978
その他	△70	△47
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,020</b>	<b>△5,685</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	309
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,769	△8,197
現金及び現金同等物の期首残高	105,209	121,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	101,440	113,543

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。